

えんど久子県議（別府市選出）県議会の議案質疑で

# 新型コロナウイルス感染症対策の予算増額を

## 新型コロナ対策の予算は？

3月11日の議案質疑で、えんど久子県議は、「2020年度当初予算に、新型コロナウイルス感染症対策としての経費が盛り込まれていないのではないか。新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費は含まれているのか。増額が必要では」と県の見解を問いました。

## 予算と体制の充実が必要

「保健所の検査体制は2008年に再編・統合されたと聞くが、感染症に対応するためには、充実が必要だと考えるが、どうか」と質問。

「感染症予防対策事業には新型コロナウイルス感染症も含めて、様々な感染症の検査に対応できるように予算を計上。全庁をあげて感染症の拡大防止に取り組んでおり、柔軟・機動的に対応したい。職員の応援体制も整え、必要な検査にしっかり対応できている」と答弁。

## 思い切った中小企業支援を

さらに、「中小企業の雇用と経営を守るために、思い切った中小企業支援のための施策を実施すべきだ」と質問。

「県制度資金に低金利の融資制度を創設。国に全国知事会などで、自営業・フリーランスの収入減対策などを要請してきた」などと答弁。

## 最終日に感染予防などの予算

その後、3月27日の県議会最終日に、約8億4600万円の新型コロナウイルス感染症対策関係の補正予算が提案され、全会一致で可決されました。

この補正予算には、県が布製マスクや消毒液等を一括購入し福祉施設等に配布するための予算や、防護服などの購入費も含まれています。



3月県議会の議案質疑で、日田彦山線の復旧、介護職員の給与アップ、子ども医療費助成制度の充実、などを求めるえんど久子県議。

2020. 3. 11. 大分県議会 本会議場

# 日本共産党 県政ニュース

発行責任者

大分県議会議員 えんど久子

TEL・FAX 097-537-2344

# No.38

2020.3.31.

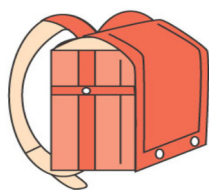
えんど久子のホームページはつぴーえんど・どっとねっとをぜひご覧ください

3月27日新型コロナウイルス感染症対策の関連補正予算を可決

# 大分県独自で子どもたちやホテル旅館や業者を応援

## 新入生にがんばってね!と1万円

この4月に公私立の小・中・高校・特別支援学校に入学する新入生の学習意欲につなげたいと、学習準備などに活用できる商品券を配布します。1人1万円分を原則入学式などで保護者に手渡しする予定です。



## ホテル旅館の感染防止を支援

「おんせん県宿泊施設感染症対策強化支援事業」として、新型コロナウイルスの感染防止対策強化に取り組む宿泊施設を支援し、その取り組みを広くお知らせします。

## 低金利で中小企業・業者などに融資

「新型コロナウイルス感染症緊急対策特別資金」の名称で、県制度資金に低金利の融資制度を作りました。対象者は、新型コロナウイルス感染症の影響で売上が前年同期比で3%以上減少した県内の中小企業・小規模事業者です。（詳しくは大分県HPで）

- ・返済期限 10年以内（うち据置2年以内）
- ・融資利率 年1.3%
- ・保証料率 年0.35～0%（保証料率年0%適用には市町村長の認定書が必要）



## 県営住宅は 保証人の必要なしに

県営住宅に入居の際、「連帯保証人を1人とする、または家賃債務保証業者による保証をつける」との見直しを行う条例改定案が可決されました。税金の完納証明書は必要とのことですが、公営住宅は生存権を保障する制度です。「保証人を確保できないために公営住宅に入居できないといったことがないように」という国土交通省の通知の趣旨に沿って、大分県としても、他の県のように連帯保証人の必要なし、税金の完納証明の必要なし、とすべきだと主張。日本共産党県議団は、条例改定案に反対しました。



「日田彦山線は災害復旧であり、あくまでも自治体負担なしで鉄道による復旧を求めるべきだ」と主張するえんど県議。

2020.3.11.大分県議会 議案質疑にて